

総合計画（案）の報告



「市民まちづくり計画」と併せて、行政が実施する「基本計画」も、市民の方から意見を伺いながら策定してきました。この度、総合計画（案）がまとまりましたので、主に市民まちづくり計画との関連性を中心に説明しました。

また、総合計画（案）は、現在パブリックコメント期間中のため、多くの方から御意見をいただきたい旨を説明しました。パブリックコメントの詳細は、市 HP をご覧ください。

市 HP QR コード⇒



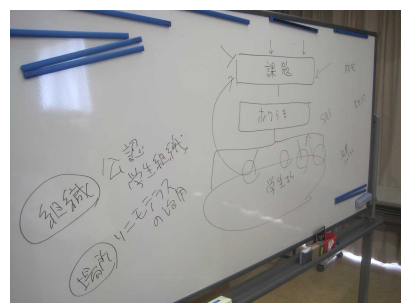
アンケートより

■特に「気づいたこと」や「発見したこと」は？

- ・各チームがいろいろな工夫やチャレンジをしていて、すごいと思った。
- ・前向きな市民の想いを、どうつなげるかが重要だと感じた。
- ・話し合うだけでなく、まず何らかの行動を起こすことからチームができ、活動がスタートすると気づいた。
- ・他の団体や周囲の人を巻き込んで進めるという方法が人を集めるには効果的だと気づいた。

■自由意見

- ・今回は、他のグループからのアドバイスをもらえてよかった。
- ・行動することにより、発見や気づきがある。議論より、一人から始める一歩が大事。



スマイルポイント対象事業



～第5回市民まちづくり計画づくり会議（発表会）～

日時：2018年12月15日（土）14：00～16：30

場所：市役所西庁舎3階 研修室

内容：①「市民まちづくり計画」のイメージ発表
② 各チームから市民アクションの発表

こちらから申し込みます⇒



《託児あり》

1歳以上の未就学児。先着10名。12/6（木）までに電話にて要申込。

次回予告

第6次総合計画づくり事業

※今回から、「市民まちづくりプラン」から「市民まちづくり計画」に名称が変更されました。

みんなでつくる！ ながくて未来図

NewsLetter NO.⑩

2018.11月発行

長久手市経営企画課



2018年11月3日（土）

9：30～12：00

福祉の家 集会室 参加者 44 名

本市では、現在、第6次総合計画（愛称：ながくて未来図）の策定の一環として、平成29年度中にみんなで考えてきた本市が目指す10年後の未来に向かって、市民のみなさんで取り組む内容をまとめた「市民まちづくり計画」づくりに取り組んでいます！

平成30年4月から、ワークショップを開催し、チームをつくり、目指すべき未来に向かって自分たちで取り組む内容を検討し、8月から9月にかけては、ワークショップで出たアイデアを実践してみる「お試しアクション」を開催し、各チーム様々な取組を実施してきました！

今回は4回目のワークショップ。各チームが「お試しアクション」の実施結果を発表した後、グループワークで、お試しアクションの結果を踏まえ、今後取り組んでいく内容（＝市民アクション）を考えました。

プログラム

9:30 ふりかえり

9:45 チーム発表

⇒全10チームから「お試しアクション」の結果を発表

10:40 グループワーク

⇒「お試しアクション」の結果をふりかえり、今後の取組を考える～

11:40 総合計画（案）の報告

11:55 おわりに

チーム発表

プレーパーク候補地を使ってみた

プレーパークの候補地として、メンバーの一人が借りている東部の里山の見学や、その“場”を他の団体に使ってもらう活動を実施。



A チーム

ゴミ拾いしながらあいさつ運動

杣ヶ池公園で、ゴミ拾いしながらあいさつ運動。すれ違う人に声をかける難しさを痛感。終わった後の、喫茶店での反省会が盛り上がった。



B チーム

学生企画・運営の新しい防犯教室

「西小校区まちづくり協議会」とコラボし、防犯教室を開催。「親に強制されて参加する防犯教室にたくない」という学生の思いから、ゲーム感覚で防犯が学べるイベントに。



C チーム

様々な移動手段を使って比較調査

リコモ・N-バス、徒歩・自転車・車の移動手段で、文化の家からイオンまで移動。かかった時間等を比較し、移動手段ごとのメリット・デメリットをまとめた。



F チーム

地域の子どもを高校に招いて調理体験

高校生が主体となり、地域の子どもたちを自分たちの高校に招き、一緒にオムライスを調理し、食べ、楽しい時間を共有。その様子を高校の文化祭で展示した。



G チーム

田畑の現状を知る

市内の耕作放棄地の状況を自分たちの目で確かめるため、まち歩きを実施。また、市の施策を勉強することで、田畑の課題を自分たちで考えた。



H チーム

子どもも大人も水鉄砲合戦

リコモテラス夏祭りとはコラボし、子どもも大人も楽しめる水鉄砲合戦を実施。通りがかりの家族も参加してくれた。「楽しんでる」ことが、人を呼ぶコツ。



J チーム

各チームが、8月から9月にかけて実施した「お試しアクション」の実施結果を発表。発表を聞き、他のチームから、「ここはイネ!」「こんな方法もあるのでは?」といったアドバイスを出し合いました。



多世代で持ち寄りBBQ

多世代が集い、防災について考えながら、わいわいBBQ。ベテランの方達から、いろんな知恵を教えてもらい、材料だけでなく、「知恵・経験」も持ち寄れた。



D チーム

竹でわいわい流しそうめん

学生団体「Donabe net in あいち」とコラボし、竹で流しそうめんを実施。「やりたい」想いが、いろんな方に伝わり、協力してもらえた。



E チーム

まち歩きで魅力探し

高校生が主体となり、新たなまちの魅力を発見するために、まち歩きを実施。見つけた魅力をInstagramで発信。自分たちの活動を広報するチラシも作成



I チーム

グループワーク

お試しアクションの実施結果を、ワークシート①を用い、K (Keep : 成果)・P (Problem : 課題)・T (Try : 次にトライしたいこと)に整理し、ふりかえりました。また、整理したK・P・Tを踏まえ、各チームが実現したいことに向かって、今後の取り組む内容をワークシート②にまとめました。

市民まちづくり計画の掲載イメージ①

各チームの目指す姿 目指す姿の実現のため、各チームが実現したいこと(手段)

各チームの市民アクション チーム名: 赤十字

各チームの目指す姿 基本目標 「やってみよう」でつながるまち(分科: 人づくり) 政策 「やってみよう」が実現できる仕組みづくり

市民アクション 学生の知恵や特技を活かし、地域課題を解決する仕組みをつくる

基本計画の関連する施策 若者の思いを支える仕組みづくり

これまでの取組内容 ※「お試しアクション」の実施結果を基にSWIでまとめる

お試しアクションの結果を、

①Why(なぜ? = 目的)
②When(いつ)
③Where(どこで)
④Who(だれが)
⑤What(何を)
⑥How(どのように)

で、まとめる

Keep (やってみて、うまくいったこと) 成果

Problem (やってみて、うまくいかなかったこと) 課題

Try (次にトライしたいこと) K・Pを踏まえ、次はこんなことにTryしてみよう

ワークシート①

市民まちづくり計画の掲載イメージ②

次回の取組内容 Tryを踏まえ、市民アクションを実現させるため次に取り組みたい具体的な内容

将来的に取り組むこと 市民アクションを実現させるため、いつか取り組みたいこと (こんなことできたらいいな、くらいでもOK!)

今後の取組に向けて必要な資源 (こんな人、こんな場所...)

今後、活動していくにあたって、こんなヒト・場所・モノがあるといいな

(例) 畑を貸してくれる人/軽トラを持っている人 大学生! / 広〜い庭があるお家 趣味でつくっている野菜

チームコメント (例) こんなチームです! こんな“想い”を大切にしています 今後の意気込み

ワークシート②

各チームの市民アクション

お試しアクション	今後の取組内容	実現したいこと
Aチーム プレーパーク候補地を使ってみた	?	子どもから大人までみんなが遊べる“場”(プレーパーク)をつくる
Bチーム ゴミ拾いしながらあいさつ運動		顔見知りを増やして、たくさんの人と交流できる地域をつくる
Cチーム 学生企画・運営の新しい防犯教室		学生の知恵や特技を活かし地域課題を解決する仕組みをつくる
Dチーム 多世代で持ち寄りBBQ		老若男女が、つながり、楽しみ、親しくなり、助け合う場をつくる
Eチーム 竹でわいわい流しそうめん		食を通して地域住民の交流を図る
Fチーム 様々な移動手段を使って比較調査		公共交通の良さをみんなに知ってもらう
Gチーム 地域の子どもを高校に招いて調理体験		子どもたちに、地域での思い出をつくり、学校以外の居場所をつくる
Hチーム 田畑の現状を知る		より多くの市民に環境保全について知ってもらう
Iチーム まちあるきで魅力探し		観光客がもっと来たくするような穴場スポットを見つけ発信する
Jチーム 子どもも大人も水鉄砲合戦		子育て世代のつながりをつくる

12/15(土)に開催される「第5回市民まちづくり計画づくり会議(発表会)」では、各チームが実現したいことと、今回のグループワークで検討した今後の取組内容を中心に、各チームに発表してもらいます。

ぜひ聞きに来てください!

